

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です

○ 中間貯蔵施設関連

- ・相馬市から平成 30 年度の輸送を開始しました
- ・「中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る実施計画」を更新しました
(12/18)

< 除去土壌等の輸送の進捗状況 (12/18 時点) >

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 114.7 万 m ³	約 63.7%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 193.2 万 m ³	約 13.8%

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯館村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。

詳細は別添 1、3 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3月に8県100市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)
別添 1 のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 4 のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

(1) 最近の動き

- 相馬市から平成 30 年度の輸送を開始しました。
別添 5 のとおり
相馬市 http://josen.env.go.jp/chukanchozou/pdf/moving_soil_plan_souma_h30.pdf
- 「中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る実施計画」を更新しました(12/18)。
概要は別添 6 のとおり
詳細は下記の環境省ホームページを御参照ください。
 - ・環境省 中間貯蔵施設情報サイト
「中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る実施計画(2018年12月)」
http://josen.env.go.jp/chukanchozou/transportation/#section01_05

○ 除去土壌等の輸送の進捗状況（12/18時点）

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 114.7 万 m ³	約 63.7%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 193.2 万 m ³	約 13.8%

(2) 平成 30 年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

(12月18日までの搬出実績)

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬出済量(m ³)	累積 搬出済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	22,542	44,964
	相馬市	16,100	-	67	17,013
	南相馬市	113,200	-	61,685	91,410
	広野町	31,900	-	15,555	26,596
	檜葉町	72,400	-	58,598	98,320
	富岡町	162,400	-	95,664	139,113
	川内村	42,400	-	43,912	58,531
	大熊町	147,000	-	77,882	130,854
	双葉町	132,700	-	44,514	91,462
	浪江町	130,300	-	52,716	89,379
	葛尾村	71,400	-	59,103	75,632
	飯舘村	151,600	-	125,726	154,023
中通り	福島市	78,700	20,000	43,525	68,439
	郡山市	67,200	20,900	91,325	154,693
	白河市	33,800	100	31,967	56,528
	須賀川市	22,000	3,600	19,576	34,501
	二本松市	50,000	-	38,231	82,012
	田村市	47,800	300	38,895	67,970
	伊達市	62,600	6,000	43,685	64,627
	本宮市	20,600	-	16,984	40,269
	桑折町	19,200	-	6,488	23,169
	国見町	16,300	-	7,789	19,153
	川俣町	71,600	-	44,671	66,987
	大玉村	13,700	-	10,835	20,100
	鏡石町	0	300	323	7,980
	天栄村	16,100	-	9,450	19,159
	西郷村	54,900	-	47,746	68,835

	泉崎村	15,200	-	11,651	22,082
	中島村	6,400	-	5,845	14,150
	矢吹町	13,900	-	7,295	16,901
	三春町	24,400	-	12,713	30,331
	合計	1,728,000	59,000	1,146,958	1,932,333※

※ フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1 m³と換算しています。

※ 中間貯蔵施設への搬出済量（国直轄除染市町村：2018年8月末、市町村除染市町村：2018年6月末時点、両者混在市町村（南相馬市、川内村、田村市、川俣町）：2018年8月末）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018年8月末時点、市町村除染：2018年6月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018年8月末時点、市町村除染：2018年6月末時点））の合計量。

※ 10万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。

※ 累積搬出済量の合計値には、2018年6月末時点で搬出が完了している市町村の搬出量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬出済量の合計とは数字が一致しません。

- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添2のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

- ① 自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

(1) 最近の動き

- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
- 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。
- 富岡町において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施しています（12/18～22）。

- 震災後の福島で暮らす皆さんの不安や悩みになすびさんがお答えする「なすびのギモン パート6」(第1回・第2回)が放送されました。

※放送された動画は、環境再生プラザのホームページでご覧いただけます。

<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>

(今後の放送予定)

第3回：平成31年3月5日(火)

第4回：平成31年3月12日(火)

(2) これまでの実施状況

(12月21日時点)

項 目		実施回数	
		H29年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	77回	32回
	(イ) 専門家派遣	47回	13回
② 住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	72回	33回
	(イ) 車座意見交換会	62回	50回
	(ウ) 個人線量測定の実施(WBC)	83日	74日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点(長崎大、弘前大)による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184台・日	141台・日
③ 環境再生等に関する情報発信(環境再生プラザ)	(ア) 専門家派遣	142件	128件
	(イ) 移動展示	42件 [55日]	38件 [54日]

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	<p>○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13~)</p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8~)</p> <p>※H30. 9 月に着工</p>
浪江町	<p>○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15~)</p> <p>※H30. 7 月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20~)</u></p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p>○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25~)</p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11~)</p> <p>※H30. 6 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中</p>
双葉町	<p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4~)</u></p> <p>※H29. 12 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10~)</u></p> <p>※H30. 2 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>
大熊町	<p>○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19~)</p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25~)</u></p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

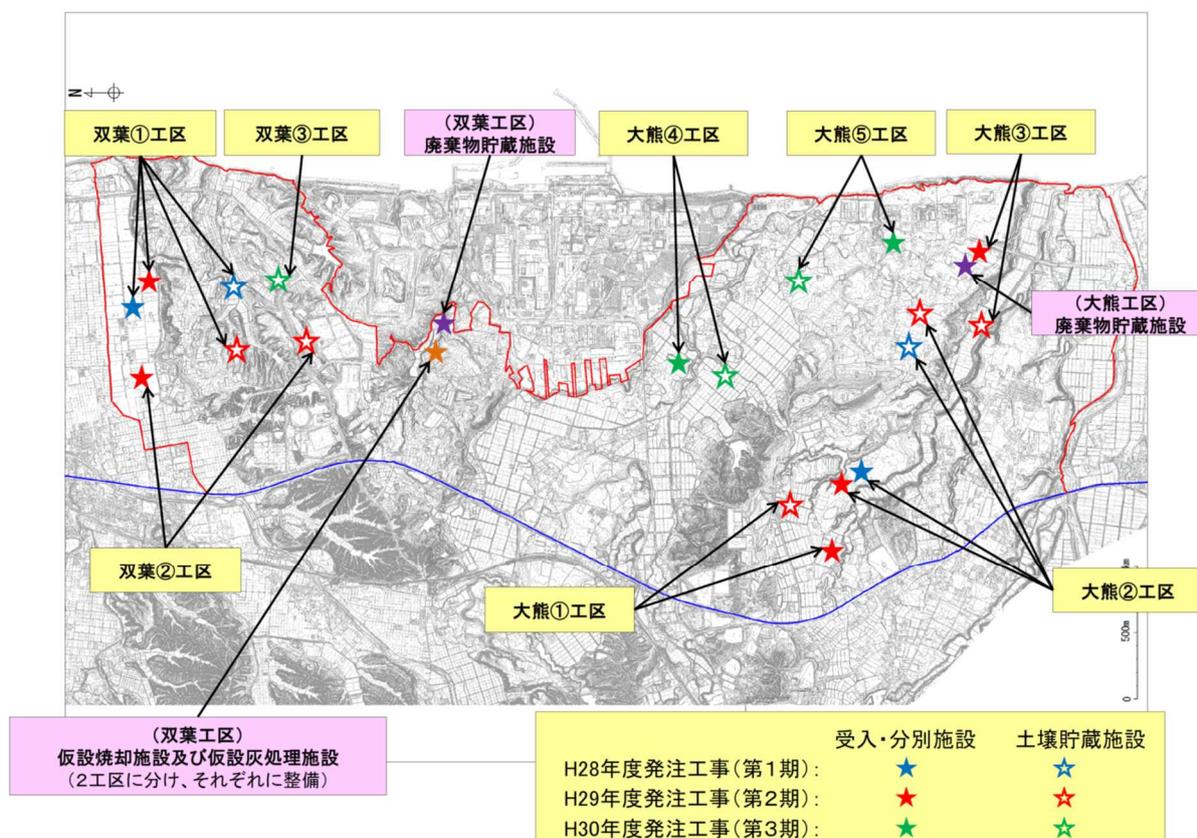
市町村	工事名
富岡町	<p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22~)</p> <p>※H29.6月に着工</p> <p>○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(その1)(H30/8/7~)</u></p> <p>※H30.8月に着工</p> <p>○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その2)(H29/12/27~)</p> <p>※H30.3月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>
檜葉町	<p>○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/4/19~)</p> <p>※H29.5月に着工</p> <p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5~)</p> <p>※H30.8月に着工</p> <p>○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9~)</p> <p>※H30.7月に着工</p>
飯舘村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10~)</p> <p>※H30.4月に着工</p> <p>○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(H30/9/5~)</u></p> <p>※H30.9月に着工</p> <p>○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13~)</p> <p>※H30.6月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付終了</p>
川俣町	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)川俣町仮置場復旧等工事(H30/6/29~)</p> <p>※H30.6月に着工</p> <p>○平成 30 年度川俣町建物解体等撤去工事(公共特殊建物)(H30/7/26~)</p> <p>※H30.10月に着工</p>
葛尾村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)葛尾村仮置場復旧等工事(その2) (H30/6/20~)</p> <p>※H30.7月に着工</p> <p>○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去 等及び除染等工事(H30/10/9~)</p> <p>※H30.11月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵 施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）（H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）（H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 10 月に着工、H30. 9 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 11 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 9 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H29. 11 月に着工、H30. 10 月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/6～） ※H30. 9 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/5～） ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/10～） ※H30. 10 月に着工
廃棄物 関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設等工事（H30/3/9～） ※H30. 6 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設等工事（H30/3/8～） ※H30. 7 月に着工、H31 年度内に稼働予定

	工事名
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （H30/10/25～）



特定復興再生拠点区域整備の状況 (2018年12月21日時点)

別添3

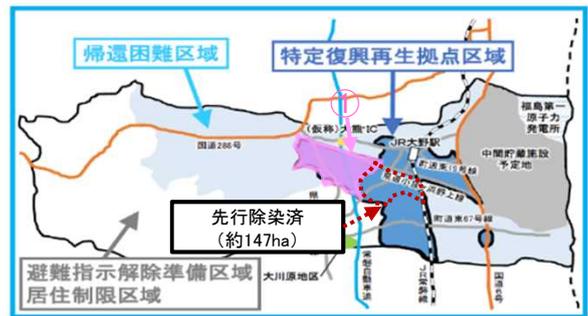
- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、全ての町村において解体・除染等工事を実施中。

双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



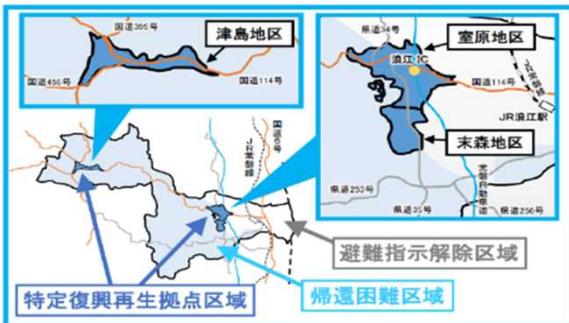
- 【工事状況】:2017.12.25着工
- ①復興シンボル軸解体・除染等工事
(解体55件、除染約7ha):実施中
 - ②駅東等解体・除染等工事
(解体640件、除染約90ha):実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



- 【工事状況】:2018.3.9着工
- ①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染等工事
(解体460件、除染約160ha):実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



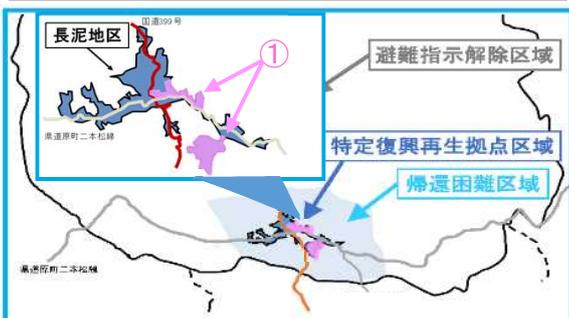
- 【工事状況】:2018.5.30着工
- ①一部道路の除染等工事(除染約4ha):完了
 - ②3地区における解体・除染等工事
(解体60件、除染約30ha):実施中

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



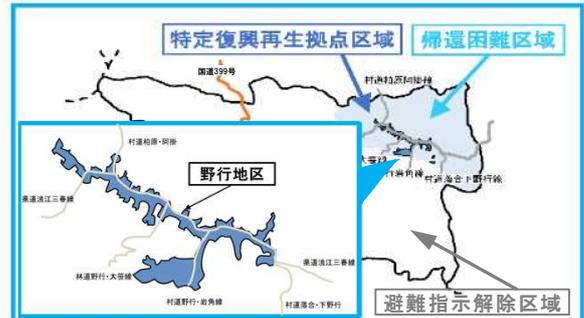
- 【工事状況】:2018.7.6着工
- ①夜ノ森駅周辺の除染等工事(除染約0.3ha):完了
 - ②拠点北エリアの解体・除染等工事
(解体300件、除染約80ha):実施中

飯舘村(2018.4.20認定、約190ha)



- 【工事状況】:2018.9.28着工
- ①長泥地区の居住促進ゾーンを中心とした解体・除染等工事
(解体20件、除染約30ha):実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



- 【工事状況】:2018.11.20着工
- ①野行地区の解体・除染等工事
(解体10件、除染約0.5ha):実施中

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 30 年 12 月 21 日

【最新の進捗状況】

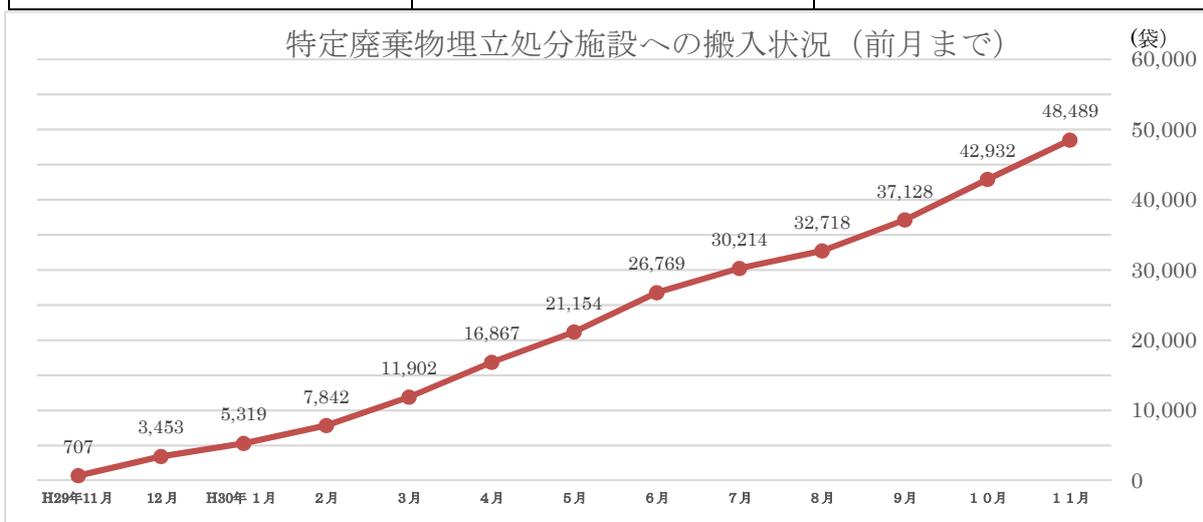
搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
12/12～12/18	1,458	51,793

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月～12 月	3,453	3,453
平成 30 年 1 月	1,866	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月	3,445	30,214
平成 30 年 8 月	2,504	32,718
平成 30 年 9 月	4,410	37,128
平成 30 年 10 月	5,804	42,932
平成 30 年 11 月	5,557	48,489
平成 30 年 12 月(18 日まで)	3,304	51,793



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

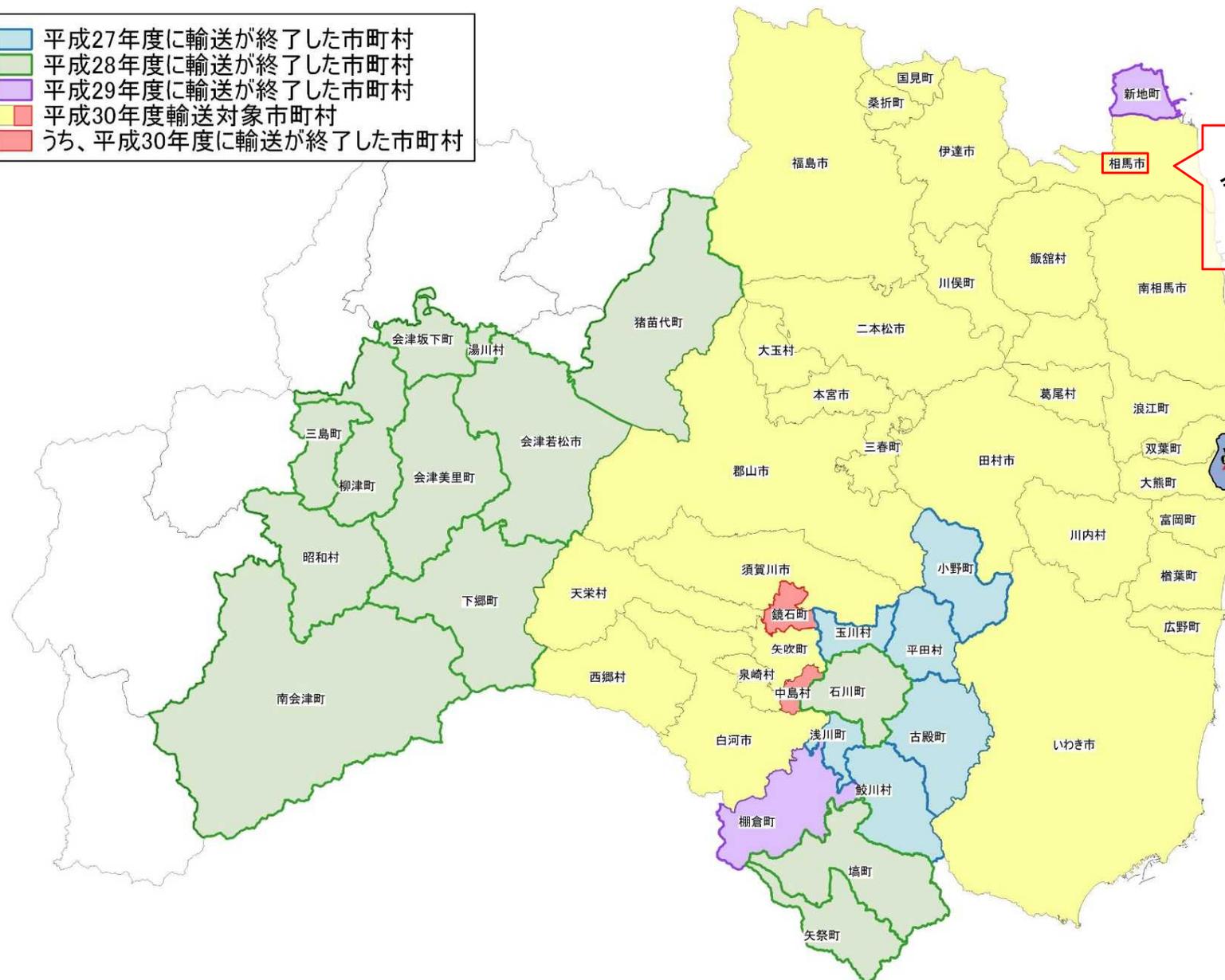
http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

中間貯蔵施設への輸送対象市町村

別添5

- 12/17に新たに相馬市から、平成30年度の輸送を開始しました。
- 平成30年度の輸送対象市町村は、31市町村

- 平成27年度に輸送が終了した市町村
- 平成28年度に輸送が終了した市町村
- 平成29年度に輸送が終了した市町村
- 平成30年度輸送対象市町村
- うち、平成30年度に輸送が終了した市町村



今年度搬出可能量：16,100m³
光陽仮置場から搬出を開始

中間貯蔵施設

中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る実施計画の更新概要

(2016年3月25日 策定 (2018年12月 更新))

別添6

【更新の考え方】

- 2016年3月に公表した輸送実施計画は、年度を特定せず、①輸送の基本的事項・②安全な輸送の実施、及び③当面の輸送に関する事項、で構成しており、輸送期間ごとに、搬出可能量についての記載箇所等を更新することと併せて、必要に応じ、これまでの輸送実績を踏まえた記載内容に変更し、「更新版」を公表することとしている。

【輸送実施計画更新のポイント】

- ①概ね1年間の総搬入予定量を更新。2019年度は400万 m^3 程度。輸送車両は大熊工区、双葉工区合わせて年間平均2,400往復/日 程度走行。
- ②避難指示の解除等に伴い住民の帰還を進めていく地域への配慮として一市町村あたり一定量(2万 m^3)を加算。搬出可能量の設定の考え方は2018年度同様。それを踏まえ各市町村の搬出可能量を設定(輸送実施計画P.111参照)。
(基礎量：立地等4町分：発生量比例 = 2 : 2 : 6)
- ③今後の輸送量の増加に対応するため、2018年度の輸送の検証(2018年11月19日公表)を踏まえ、安全性が十分に確保されていることを前提に以下のとおり見直しを実施。また、広報施策の充実を図った。
 - a. 一部の入退ゲートにおいて、今年度からETCによる車両確認を開始した。これにより、ETC設置ゲートでは、従来より短時間で輸送車両のゲート通過の確認ができた。
 - b. 高速道路を走行する輸送車両の状況をラジオや横断幕にて一般の運転者にお知らせすることに加え、中間貯蔵施設情報サイトのリニューアルを行い、リアルタイムに輸送車両の走行状況が把握できるようにした。引き続き、輸送の進捗状況がより明確に分かるように広報施策の充実を図る。
- ④交通混雑評価について、最新版の一般交通量を元に、中間貯蔵施設の整備状況を踏まえ、再度試算したところ、2017年12月5日公表版との大きな差はなかった。